

◇ 第 31 号 ◇

発行所

甲府市丸の内一丁目6-1
財団法人山梨県交通安全協会
TEL 甲府(0552)(35)2121 内線328・339

県下の交通事故 (12月14日現在)

Table with 4 columns: 区分 (年別), 事故件数, 死者, 傷者. Rows for 49年, 50年, and comparison (比較).



交通功労者・優良運転者を表彰

= 376人と21団体 =

交通安全協会と山梨県警察本部の共催による交通安全功労者および優良運転者等の表彰式は、十月三十日県民会館小ホールにおいて、関係者約三百人の出席のもとに盛大に行われました。

管区表彰は堀内氏ら3人

山梨県交通安全協会と山梨県警察本部の共催による交通安全功労者および優良運転者等の表彰式は、十月三十日県民会館小ホールにおいて、関係者約三百人の出席のもとに盛大に行われました。

- List of recipients and their details, including names like 康幸, 秋山幸一, 望月栄一, etc.



表彰式でありさつする鈴木県警本部長

安協常任顧問に
鈴木誠之助氏
当協会の常任顧問としてご指導をいただいたお礼です。

稲葉県安協副会長
警察協力章を受賞
多年にわたり警察に協力し、多くの功績を残した人

安全運転のおじさん

通園バスの水野篤さん



都留市下谷の円通保育園で園児の送迎用マイクロバスを運転している。毎日同乗せ、四つコースを朝

連帯感が実を結ぶ

身受者者連帯感
受賞した県身体障害者連

二輪車に乗るときはヘルメットをかぶろう

朝男、千頭和徹、深沢隆房、筒井富士雄(南部)窪田長英、中込勇、伊藤武雄、赤池正男、殿岡金平(市川)



安全のプロケラム

免許をとって、約半年後のある日。このことである。A君は、国道を東京方面に向か走っていた。道路は四車線、道幅が広い。A君は、車線を越えて走っていた。すると、対向車から「やべー、やべー」という叫びが聞こえてきた。A君は、何となく振り返ると、対向車から「やべー、やべー」という叫びが聞こえてきた。A君は、何となく振り返ると、対向車から「やべー、やべー」という叫びが聞こえてきた。

年末年始もゆっくり運転

12月20日から県民運動

飲酒運転追放に重点

歩行者の事故防止はかる

年の瀬が押しつると、人や物の移動が急激に増加し、人の心もあつただしくなるため、毎年交通事故が増加しています。とくに、年末年始は習慣的に飲酒の機会も多くなり、危険な飲酒運転の事故が多発するともあります。このため県交通安全本部と県交通安全推進協議会の主催で「年末年始交通安全月間」の活動が実施されることになりました。この活動は、本県の統一スローガンである「ゆっくり走ろう山梨県」をタイトルに掲げ、「年末年始もゆっくり運転」一歩一歩もゆっくりと、ゆっくりをもち、交通安全に心がけるように呼びかけ、さらに、飲酒運転の追放と歩行者の事故防止を重点に展開することになっています。期間は、十二月二十日から一月十日までの二十二日間です。

年末年始の交通安全月間実施要綱

- 目的 この運動は、多発が予想される年末年始における交通安全事故の防止と、ゆっくり運転の推進、飲酒運転の追放、歩行者の事故防止を重点として職場、家庭等に周知徹底を図り、正しい交通ルールの実践を習慣づけ、交通事故防止の徹底を図ることを目的とする。
- 運動の重点
 - ① ゆっくり運転の推進
 - ② 飲酒運転の追放
 - ③ 歩行者の事故防止
- 運動のすすめ方
 - ◇ ゆっくり運転の推進

スピードの出過ぎによる死亡事故が多発しているため、規制速度以内での安全な走行に心がけるとともに、徐行もしくは停止すべしと、必ず徐行または停止し、交通事故防止を図る。

ゆっくり運転の推進を組織的、体系的に展開し、交通安全思想の高揚を図る。歩行者とくにもとより、身体障害者等交通上弱い立場にある者の安全確保を図る。

横断歩道を渡ろうとする者がいるときは必ず停止し、歩行者の安全確保を図る。飲酒運転の追放

悲惨な飲酒運転による交

県境に大看板

富士吉田署と、富士吉田安協では、静岡県境の籠坂峠の頂上と、富士吉田との境界の二カ所に、写真のよう高大看板を立てました。

二メートルというデラック。県内に入る車に向って「これより甲斐の交通安全運転車のみ通行を許可する」と、交通安全守衛隊と、また、県外に出る車には「城（えい）近し馬のたずなを（え）近し馬のたずなを（え）引きしめよ」と大書してあります。



国境の大看板

愛と友情のことばを

交通安全 母親の役割学ぶ

全国交通安全母の会連合会と、山梨県交通安全母の会連合会共催の、関東・東海ブロック交通安全母の会指導者研修会が、十一月二十五日甲府市明治生命ホールで開催され、一都八県から母の会の役員百五十名が参加し、講師に総理府交通安全対策室長竹岡勝美氏、警察庁交通安全参事官鈴木金太郎氏、全日本交通安全協会常務理事小高勝氏を招いて、交通安全と母親の役割、交通事故と母親の責任、等について講演を聴いた。活動事例について話し合い、力のごもった研修会となりました。

当日、全交母連合会の吉川政枝会長が入院中の花柳理事は、あいつの

なかで「社会福祉とは、昔は社会救済事業のように思われ、富める者が貧しい人を救済するという考え方があったが、現在の社会福祉は一人ひとりが幸せになるようにすることであり、実践行動として家庭の中からも悲惨な交通事故を出さないようにすることが、まず身近な社会福祉につながる」として、今後母親の責任と責任を、子供や老人の事故防止に、一層の活動を続けたいと訴えています。

竹岡勝美氏（総理府交通安全対策室長）

交通事故をなくすために母親の役割が大きいので、総理府、警察でも力を入れて、全国二十五都県に



みっちり勉強するお母さんたち

母の会が結成されている。総理府では、五十年度から全交母連に一千万円の補助金を出している。事故を多く起こしているのは、二十代の若者と、中年の飲酒運転者である。若者よ、スピードを出さないでほしい。これをなくすために、家庭では母親の愛のことばを、友だちには友情のことばを伝えたい。

交通安全の基本は、人の生命をのぶすことである。他人を助ますことである。交通安全は励ましの愛から始まる。

鈴木金太郎氏（警察庁交通安全参事官）

昨年は事故がスローダウニングした。本年は低迷状況だ。交通事故の死者を五年後には八千四百人に抑えたい。それは毎年五分ずつ減らしていかねばならない。二輪対策は成功している。ヘルメットとシートベルトの着用を励行すると、死者は確実に減る。

交通安全

昭和51年度年間スローガン 最優秀作

運転者向け

示すあなたの お人柄

歩行者向け

危ないと 子をしかるより 手を引こう

ことば向け

とび出すな 車のあとに また車

家庭では愛のこえを、友達には友情の注意を

家庭では車を運転する来客には酒を出さないことを徹底し家族ぐるみで飲酒運転をさせないように飲酒運転仲間同士の話し合いをすす

め、飲酒運転をしない運動を起す。

歩行者の事故防止。歩行者の横断歩道が原因の死亡事故が多発している。横断歩道による横断歩道を渡る「夜間の外出はひかえる」ことの徹底を図る。

飲酒運転をしない運動

するとともに、「ひとりあるき」をさせないよう保護者に徹底を図る。

老人に対しては「手をあけて車の停止を確めて横断歩道を渡る」「夜間の外出はひかえる」ことの徹底を図る。

県警は交通五悪追放作戦

県警では、昨年は十二月

安協の公的活動に補償

飯沢町で保険料負担

飯沢町では、本年度から交通安全協会の役員三十八名を交通事故傷害保険に加入させ、保険料は町費負担とすることになりました。これは、交通安全協会の役員が、交通指導等の公的活動に従事し、災害にあってした場合の補償措置としてとられたものです。

保険の内容は、先に紹介した河口湖町とまったく同様で、保険金の受取人は町内の安協役員またはその遺族、保険金は死亡二百万円、傷病はその程度に相当する分により、入院中は一日千五百円、通院治療中は一日千円となっています。保険料は一人年間二千八百円、三十八人分は八万九千四百円です。

石和町でも見舞金

石和町では、このほど町議会の議決を得て「石和町交通安全指導協力者に対する交通安全見舞金の支給に関する条例」を制定、公布しました。

条例の内容は、すでに施行している南都町、富士町、身延町と同じで、支給対象者は交通安全協会の役員、交通安全指導員、交通安全指導員、PTA等の構成員で、見舞金の額は、死亡三百万円、身体障害者五百万円、軽傷十百万円、重傷五十万円、軽傷十万円とされています。

1月19・20日に開催

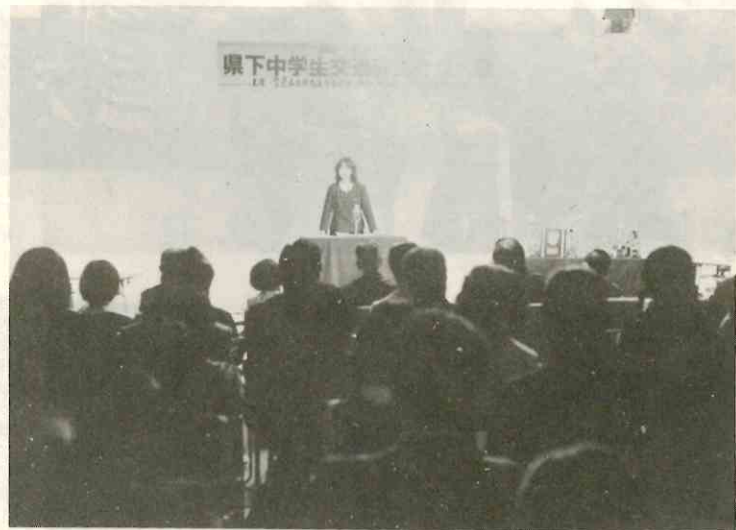
交通安全中央大会 恒例の第十六回交通安全中央大会は、新春の一月十九、二十日の両日東京で開催されることになりました。第一日は、日本都市センター、麹町会館で、地域職域部会、運輸者安全連帯管理部会、婦人部会および子ども部会の四部門別集会を開催し、それぞれの立場から交通安全対策について意見発表を行なったあと、日本都市センターにおいて全体会を開き、記念講演、交通安全映画の上映が行われることになっています。

第二日は、日比谷公会堂において、常陸宮、同妃両殿下のご臨場を得て中央大会本会議を開催し、交通安全国民運動推進方策に関する部会協議長報告と大会宣言を採択し、交通安全大会宣言をおよび優良運転者等の表彰、交通安全年間スローガンの最優秀作に対する内閣総理大臣表彰が行われ、ついで常陸宮殿下のおことばがあり、内閣総理大臣、衆参両院議長、国家公安委員長、各府県知事、市長等が出席することになっています。本県からは出席者は三十名で、目下県安協で人選中

第17回県下中学生交通安全弁論大会

17人が熱弁をふるう

三枝由紀子さん(塩山)優勝



17人の選手が力こもった熱弁をふるった

山梨県交通安全協会、NHK甲府放送局、交通山梨新聞社の共催による第17回県下中学生交通安全弁論大会は、十月十四日甲府放送局第一スタジオにおいて開催されました。

大会には、県下の警察署単位で行われた地区予選の優勝者十七人が出場し、交通安全防止の熱意をこめて熱弁をふるいました。

審査の結果「心にブレーキ」と題して心の戒めを訴えた塩山北中二年の三枝由紀子さんが優勝しました。

優勝(知事賞) 塩山北中二年三枝由紀子
準優勝(県議会議長賞) 上野原中三年 木下旬子 (警察本部賞)
同 若草中一年 川崎真由美 (県教育長賞)
同 猿橋中三年 原島佐知子 (出演順)
須玉中二年 津金 加代

甲府西中二年 武井美香子
 下部中三年 小林 典子
 笹南中二年 佐野 浜子
 小淵沢中三年 進藤すみ
 小淵沢中三年 樋口 美穂
 山中湖中三年 天野たか子
 山梨南中三年 津金厚雄
 都留第二中三年
 小丸真砂美
 山梨南中二年 雨宮みゆき
 浅川中一年 田中 恵子
 甲府南中三年 石川敬子

第1回 初狩中 小林 弘子
 第2回 中道南中 渡辺 征三
 第3回 南中 四條 薫
 第4回 山城中 岡部 弘子
 第5回 富河中 望月 好美
 第6回 富河中 仲尾 良子
 第7回 湯田高付中 富田千賀子
 第8回 松里中 相原美智子
 第9回 甲府東中 宮本 豊
 第10回 韮崎西中 藤原 幸子
 第11回 韮崎西中 藤原 幸子
 第12回 甲府西中 河西 節子
 第13回 上野原中 鈴木みさ子
 第14回 身延中 遠藤 光江
 第15回 市川中 渡辺 仁
 第16回 甲府南西中 今沢なおみ

交通安全祈願祭
 交通安全を願って、県交通安全協会の恒例の交通安全祈願祭は、新春の一月八日午後二時から武田神社で行い、引続いて古名屋ホテルで理事会、評議員会合同会議を開催します。

県政功績者に根津惣造氏
 県では十一月十四日に五十年度の県政功績者の表彰



木々の緑さえも色あせて見えるような暑い真夏の日でした。私がいつものようになんの気なしにテレビのスイッチを入れると、終戦記念日の今日というアナウンスの音が流れてきました。ああ、今日が終戦記念日かと考えた私は改めて今の恵まれた時代に生きる喜びをしみじみと感じました。「戦争」私達は戦争を知らない子供達です。確かに私達は平和で豊かな毎日をおくっています。しかし現実にはその私達も平和の喜びを心の底から味わってはいけません。そう、父や母の時代と同じように、現代における戦争、交通戦争のまただ中に生きているのです。「交通戦争」という恐ろしい戦争をなくしていくにはいろいろな方法や手段があるでしょう。しかし、結局は運転者も歩行者もそれぞれの立場から交通ルールをしっかりと守っていきことが根本だと思

う。だから私は私達中学生にできる身近な方法として昨今の同じステータジで「歩行者」としての自覚と責任をもち、歩行者が自分を守るためにいかに責任をはたして、義務を守り、一部の運転者がこういう無謀な行動のねらいのひとつに「交通五悪道放」というものがあることを聞いて、私は深く考えさせられました。これは、交通三悪道放、すなわち「速度違反、飲酒運転、無免許運転の三つ」の道放に重点がおかれていたが、考えてみるとこれらはすべて運転者側の問題です。また、不注意というわけでもありません。そう、このあたりは名前のとおり「悪」な行なっているのです。ところが今年にはさらに「歩行者

保護義務違反」と「追い越し違反」が追加されて交通五悪道放としてしまいました。歩行者が自分を守るためにいかに責任をはたして、義務を守り、一部の運転者がこういう無謀な行動のねらいのひとつに「交通五悪道放」というものがあることを聞いて、私は深く考えさせられました。これは、交通三悪道放、すなわち「速度違反、飲酒運転、無免許運転の三つ」の道放に重点がおかれていたが、考えてみるとこれらはすべて運転者側の問題です。また、不注意というわけでもありません。そう、このあたりは名前のとおり「悪」な行なっているのです。ところが今年にはさらに「歩行者

べてをスピード感の満足に、よって忘れようとする、その利己的な快楽、スピードスリルは味わってみなければわからないものがあるのかもしれない。しかし、これが正しい若者の情熱の受け口だといえるでしょうか、スピード違反は当然とされる集団の力をかりて他人の車に傷をつける、信号無

ちがいで人の生命をうばうことも、また、自分の生命を失うこともあろうるのに、行動をとるのでしょうか。暴走族の兄さん、姉さん、私はあなた方に強く訴えたい。ブレーキがなれないのですか。行動の暴走、心の暴走をおさえるブレーキがない

会にも欠点があることも判っています。たとえば、今の少年週刊誌などをのぞいてみると、公道グランプリだとか、暴走などというものがまるで正しい、まるで若者の情熱の受け口であるかのように描かれていて、無責任な一部の大人の考えにせられぬように注意していかねばならないと思います。私達は戦争を知らない子供達といわれながらも、私達は現代における交通戦争といふ地獄のおける交通戦争を知っています。だから私達は、若い世代の間、手をにぎって、行動の暴走や心の暴走をなくして、一部の大人のみにない手段にまどわれない、そして若者らしい希望に満ちた明日の社会を育てるために、若者の清らかな夢を育つために、私達自ら心にブレーキをかけて交通ルールを守り、交通戦争をなくすることに、若者の情熱をふりまかせようではありませんか。

式を行いました。治安維持関係で、県安協評議員、南甲府安協副会長根津惣造さん(中道町富士タクシ社長六十六才)が受賞し、田辺知事から表彰状と記念品を贈られました。

根津さんは、昭和十年にハイヤー事業を創業以来四十年間交通安全業務にたずさわり、同時に安協役員となり、交通安全のたために尽力してきました。今までに交通安全防止の功勞により、数多い表彰を受けています。四十二年に交通安全賞章、緑十字銅章と、黄綬褒章を受けています。

温厚篤実で人情深く、社会奉仕の念もあつく、民政方面にも温かい手をさし、高いついて、高い信望を得ています。

す。今回の受賞に感激し「これからもこの榮譽を傷つけないように一生を交通安全のため捧げる覚悟です」と語っています。

小池恒三氏に黄綬褒章
 南巨摩郡増穂町青柳、飯沢貨物社長小池恒三さん(七十四才)に交通安全功勞者として黄綬褒章が贈られました。小池さんは、飯沢安協の古い役員で、永い間理事をしていましたが、現在は顧問になっています。役員に在任中、切石の屈曲坂道に衝突・転落事故が連続発生したとき、率先して車両を提供して道路を改善し、切石の坂に「切石の坂尻切通し」と呼ばれ、今なお地元民からその功勞が語りながれていました。また、学童の安全通学に熱意を傾け、年間を通じて登下校の安全歩行の指導に当たり、学童生徒から「小池の交通おじさん」と親しまれ、地元住民からも「交通の小池さん」と愛称され、感謝されています。

新規購入 映画の紹介
 山梨県交通安全協会では、新しく次の映画を購入しました。無料でお貸しいたします。ご利用ください。

一 ママ知ってる?
 一 幼児の特性と交通安全一 16ミリ、カラー、二十六分、母親向き。
 一 健児君(五歳)は、交通安全の苦しみを知っています。だから私達は、若い世代の間、手をにぎって、行動の暴走や心の暴走をなくして、一部の大人のみにない手段にまどわれない、そして若者らしい希望に満ちた明日の社会を育てるために、若者の清らかな夢を育つために、私達自ら心にブレーキをかけて交通ルールを守り、交通戦争をなくすることに、若者の情熱をふりまかせようではありませんか。

います。家庭のお母さん方、先生方にもぜひ見せていただきたいものです。

二 トラックに生きる
 一 ドライバーの安全運転のために一 16ミリ、カラー、三十分、運転者向き。
 一 安全運転に徹する年配の山中運転手と、若くは若いのいしい小林運転手。二人の乗務で11トンのトラックは地方へ出発する。速度、追いつき、渋滞、市街地、郊外、ハイウェイ、雨、そして雪と、いろいろ変わる交通環境の中で、ベテラン運転手と若手運転手の会話がかかわる。怒りあり、笑いあり、ドラマとデータで安全運転を教えています。

三 おとぎの国の交通安全一 16ミリ、カラー、十六分、幼児向き。
 この映画は、幼児の心に密着したおとぎの国のオモチャや動物たちをテーマに、ユーモアの中で、きまりや規則のたいせつなことや、事故の恐ろしさを自然に理解させ、幼い頃から安全意識を育て、幼児向けの楽しい映画です。

心にブレーキを

塩山北中二年 三枝由紀子



ありませんか。そして、その情けない恐ろしい運転者の中に私達と同じ世代の若者がいること、それは残念でなりません。その代表的なもの、それが今社会問題として取り上げられている暴走族です。青春の情熱の受け口は、求めず、自分を出すスピードに「この世で一番早い一番大切な生命」というものをかかっている。ちょっとのま

自動車安全運転センター

山梨県事務所を開設

▲▲▲ 51年1月1日 オープン ▲▲▲

「運転経歴書」も発行

事故証明、郵便でもOK

自動車安全運転センターは開設の準備を進めており、いよいよ昭和五十一年一月一日から、中巨摩郡八田村野牛島一八二八番地 山梨県警察本部運転免許課施設内に、特殊法人自動車安全運転センター山梨県事務所として開設され、次の業務を始めることになりました。電話は〇五五二八二一五―二三四五（警電は三四八）です。

1 交通事故証明書の発行
交通事故証明書は現在警察署が発行していますが、一月一日からはセンターの山梨県事務所が発行します。証明書の必要な方は申請書（郵便振替用紙に印刷したもの）に手数料四〇〇円を添えて最寄りの郵便局から申込んでください。申請書は、警察署、派出所、駐在所、損害保険会社、農業協同組合等に準備してあります。

証明書は郵便でお届けすることになっていますが、センター事務所から本人の自腹を促す意味で、郵便でお知らせします。

2 運転経歴証明書の発行
自分の運転経歴について無事故、無違反の証明書の必要な方や、交通違反で現在の点数を知りたい方などに、本人の申請によって証明書を発行します。申請し込みの方法は、交通事故証明書の場合同じです。

3 免許停止直前の点数通知
交通違反などの点数が運転免許の停止処分を受ける直前の点数になった方に、センター事務所から本人の自腹を促す意味で、郵便でお知らせします。

以上のような業務を行うこととなりますが、不明の点については、県警察本部交通企画課（電話〇五五二一三五―二二一）内線三三二）又は最寄りの警察署、派出所、駐在所でお尋ねください。



第一部 最優秀賞
甲府市金竹町 宮崎 貴氏



第二部 金賞
日本道路公団大月管理事務所

安全は、ムリ・ムラ・ムダのない運転。安全ベルト、着ける余裕が身を助ける。一秒をいそぐ心に、事故の影も追いつかれても、マイペース。さあ発車、ベルトをしめて、シートベルト、着けるゆとりが、身をまもる。その速度、命と石油のムダ使い、幼い信頼、真切なる、上手と思う、下手な君、なげなげ、急ぐあなたを、事故が追う。ハンドベル、もたら締め、心とベル。そこ、子ども、自転車、おとしより。

暴走は、しない、させない、ゆるさない、ゆすり合う、気が持たない、道路を広くする、補償と苦悩は、一生運、歩行者向けのもの、子どもの手、放さないでね、お母さん、つないで渡ろ、う、手と心、信号の、変わり目、よく合、う、危ない目、自転車も、とまて確認、街の角、こども向けのもの、パパやめて、いつでもどこでも、渡るくせ、話していても、目と手を放すな、子供には、良い横断、子供が見てる、真似してる、こども向けのもの、に、渡るうよ、手を上げて、止まった車に、飛び出すな、次の青でも、おそくない、ゆだんを、「なれたみち」ゆだんを、一人の目より二人の目、たしかめ合せて、ハイ、渡ろ、まがりかど、とどまて、右左、右がわは、いつもよいこが、とおるみち、よい子は、よくみてわた、る、こうさて、よく見れば、そばにあるあ、る、歩道橋、四ツ角は、ペダルをとめて、みきひだり、よびきても、わたるな信号、まだ赤だ、渡る目と、運転する目が、ニコリ合図、

昭和51年交通安全年間スローガン

(佳作)

赤い目、はちり、あふな、いそ、青い目、はちり、さあ、わたろ、青になるまで、待って、おしゃべり、あふないぞ、おしゃべり、道くさ、ふざけて、小さい子、見たら、いっしょ、

赤い目、はちり、あふな、いそ、青い目、はちり、さあ、わたろ、青になるまで、待って、おしゃべり、あふないぞ、おしゃべり、道くさ、ふざけて、小さい子、見たら、いっしょ、

須玉町に女性運転者会

初代会長に 矢崎みちえさん

須玉町に女性運転者会が誕生しました。須玉町を縦貫する国道一四一号線に、高校生や子供の出しに、よる交通事故が頻発していること、頭に悩ました上村慶一町長が、「この事故防止には母親の果敢が大きい。それは、かねてから活動している安協婦人部の中核的な女性運転者の結集をはかってその力を借りたい」と呼びかけ、それに応じて町内の女性運転者三百人で結成されました。



おそろいのエンジのユニホームを着た会員たち（前列中央が矢崎会長）

組織は、町内の旧村単位に六支部をおき、部落単位に分会をおいて全地域から、活動方針を決め、初代会長に矢崎みちえさんを選びました。が、みんな意欲的で、先ず模範的な安全運転をして手本を示そう。家庭における安全教育を推進しよう。と、精神的な盛りあがりを見せました。

なお、秋の安全運動には、揃いのエンジのユニホームを着て街頭活動にのり出しました。役員は次のとおりです。

会長 矢崎みちえ（若神子）
副会長（支部長）
植松 由子（穂足）
内田 君江（若神子）
清水せつ子（津金）
興水八重子（多摩）
小沢 竹代（江草）
有井 義子（増富）

最優秀賞に宮崎 貴氏

交通安全写真コンテスト

山梨県交通安全協会では、第九回交通安全写真コンテストの募集を行なったところ九十二点の応募がありました。

審査の結果、第一部（一般交通についての写真）では、時節からヘルメットの着用を扱った宮崎貴氏の作品が最優秀賞に入選し、第二部では最優秀作品がなく、金賞、銀賞に三つの作品が

入賞しました。応募作品は、早速交通安全運動の写真展や機関紙に活用され、交通安全の啓発に役立っています。

第十回コンテストの募集は、五十一年四月から行いますので、多数応募してください。

入賞者は次のとおりです。

第一部
最優秀賞 宮崎貴（甲府）
金賞 高坂幸太郎（桐形）
銀賞 大柴力（明野）
銅賞 今村陽（殿島）
山本幸喜（市川大門）
市橋邦広（甲西）
柳沢文三（韮崎）
佳作 三井治、日原力、日原巨入、山本幸喜、前田恵、阿蘇実

第二部
金賞 日本道路公団大月管理事務所
銀賞 青

今日は無事故で

作詩 宮野 貢
作曲 清水 吾



今日は無事故で

今日は無事故で

今日は無事故で

今日は無事故で

今日は無事故で

今日は無事故で

今日は無事故で

今日は無事故で

今日は無事故で、日が暮れる、明日は無事故で、誰か知る、無事故祈って、鐘がなる、今日は無事故で、日が暮れる、明日は無事故で、安全を祈る鐘の音、祈る月、今日は無事故で、明日は我が身、人の身か、無事故祈って、月が出る、今日は無事故で、明日は無事故で、安全を祈る鐘の音、祈る月、

柳常雄（大月署）高坂幸太郎（桐形）
銅賞 望月幹夫（甲府署）
佳作 岡田清、塚原忠茂、相川豊、野良正、柴田一耕、大月分駐所、丸茂司夫、笹本雅文、丸茂